

(松本地域)

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	みんなのまつもと・市民会議「松本のひと・まち・くらしをデザインする」
事業主体 (連絡先)	まつもと市民会議実行委員会
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業 (8) 地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,336,865 円 (うち支援金: 1,096,000 円)

事業内容

(1) 事前ミーティング

パネリスト・アンカー・アドバイザー・コーディネータ計8名が『歩いて行ける街の魅力づくり』について計3回の事前ディスカッションを重ね準備。

(2) みんなのまつもと・市民会議「松本のひと・まち・くらしをデザインする」フォーラム開催

- ・日時: 平成29年11月18日(土) 12:30~15:40
- ・場所: ホテルブエナビスタ2Fメディアール
- ・内容

【基調講演】世界から松本を見てみよう

演題: 「人が変われば街が変わる」

講師: 旅人・アーティスト 関口知宏氏

【パネルディスカッション】松本をもっと知ろう

テーマ: 「歩いて行ける街の魅力づくり」

出演者: 松本大学大学院 根本賢一教授

松本クラフト推進協会 伊藤博敏氏

長野県建築士会松筑支部 山田健一郎氏

松本市こども部 伊佐治裕子部長

アンカー: フィット・イン 中村美由紀代表

アドバイザー: ヘルスケアシティ研究会 岡田世郎氏

コーディネータ: 健康都市活動支援機構 梶本久夫氏

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- (1) フォーラム開催当日、270名の参加があり地域協働を目指し、地域の元気を生み出す地域づくり事業の当初の成果を得た。
- (2) 「松本のひと・まち・くらしをデザインする」(歩いて行ける街の魅力づくり)パンフレット700部を制作発刊し、当日配布。市民目線の多方面からの魅力ある街づくりを提案出来た。
- (3) 人口25~30万人程度の地方中核都市の未来像モデルとしての「ヘルスケアシティ」松本版を提案、健康を核とした新しい地方都市像の切っ掛けづくりが出来た。

(活動写真)



【会場写真】

【目標・ねらい】

- ① 新しい地方都市像としての「ひと・まち・くらし」の提案
- ② 歩いて行ける街の魅力づくりの提案
- ③ コンパクトシティの未来像「ヘルスケアシティ」の提案

※自己評価【B】

【理由】

当初の目的はある程度達成できたが、年間を通じての活動が必要となり、その財源確保が問題となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- (1) 今回提案され、実行委員会でも冊子を発刊した内容を、行政への政策提案する会議を開催し、新しい街づくり実現に向かって事業を推進する。
- (2) 次回開催まで、市民・学生・業界関係機関と協働し、今回のテーマをより具体的展開するワークショップを継続開催する。
- (3) 継続開催するワークショップの財源確保を検討する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある